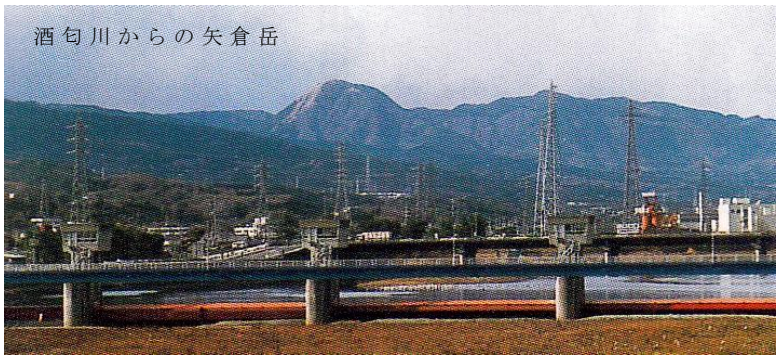
作者プロフィール
柚木 文夫氏　千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成 2 年退官 1958 年防衛大学卒

富士山展望の矢倉岳


酒匂川からの矢倉岳

４月上旬、穏やかな日和の中、相模平地北辺の山・矢倉岳（870m）に登った。矢倉岳は、足柄平野を眼下に見下ろす物見ヤグラのような独立峰であることがその名前の所以である。山頂は、また近年、若い人達のパラグライダーのゲレンデでもある。

パラグライダー

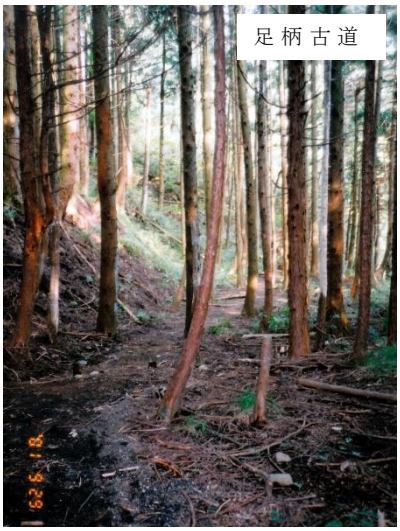
小田急線新松田駅からバスで25分の矢倉沢から登山が始まる。午前9時、村外れの白山神社に今日の無事を願い入念にお詣りした後、ミカン畑の中の舗装道路をたどる。約 20 分で、物置小屋の脇を抜けて山道に入る。展望もない杉林の中のジグザグの登りである。30 分程で杉林が灌木帯に変わる頃からジグザグが終り、尾根筋のトテツもない急な登りに変わった。粘土質の滑り台のような直登道で、雨の日などの難儀が思いやられる。10 時 45 分、灌木に赤松が交じり出し、傾斜がいくらか緩くなったなと思ったら、いきなりポンと矢倉岳山頂に飛び出した。

カヤトの原に囲まれた広々とした山頂は、360 度素晴らしい展望である。左裾に愛鷹、右裾に三国の連山を従え、ドーンと正面に立ちはだかる富士山の威容に息を呑む。右には丹沢、道志の山々、左には箱根の山並み、目を転ずれば足柄平野の先に相模湾が光り輝いて見える。素晴らしい眺望に疲れも忘れ、ゆっくり１時間、昼食休憩をとった。

下りは足柄峠に向かう。頂上直下の若干の急な下りの後は、雑木で見通しの効かない単調な尾根筋の上り下りが続く。途中、足柄万葉公園の歌碑などを一つ一つ鑑賞しながら足柄峠に着いたのが午後１時半。足柄城址から御殿場平地を隔てて眺める富士山がまた素晴らしかった。

足柄之関跡

足柄峠から足柄古道を下る。所々で車道を横断するが、往古の面影を彷彿とさせる風情ある山道である。2 時 50 分地蔵堂着で最終バスに間に合った。


足柄古道

矢倉岳山頂から望む明神・金時の山並み